

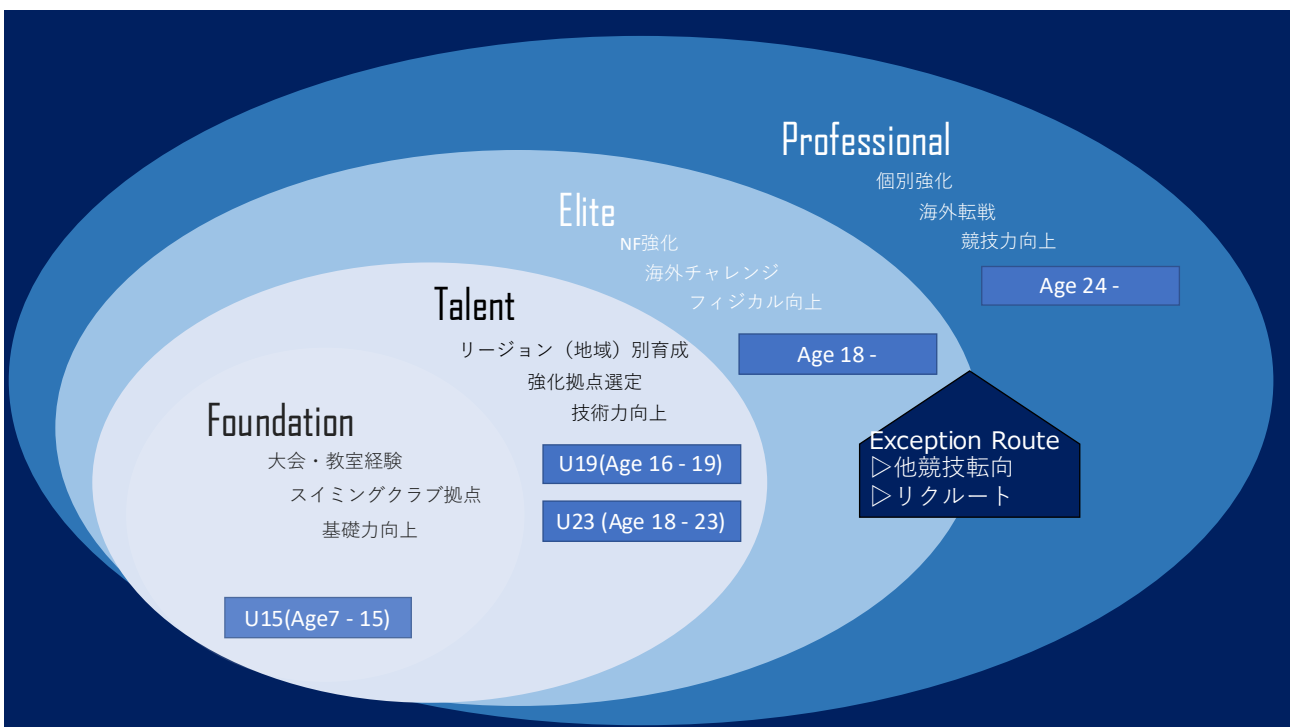
<アスリートパスウェイシステム>

1) 概要

JTU では、アスリートを発掘・育成・強化していくためのパスウェイ全体を様々な角度から捉え、ステークホルダーとの関係を強固なものにしながら、国際競技力の強化につなげていくトライアスロン独自のパスウェイプログラムに取り組んでいる。

JSC におけるパスウェイ科学事業では、オーストラリアのアスリート育成パスウェイ「FTEM フレームワーク」をもとに日本版 FTEM を開発しており、F (Foundation)、T (Talent)、E (Elite)、M (Mastery) の段階でアスリート育成を推進している。JTU では最終段階に P (Professional) を目指したパスウェイとして、「JTU オープンドア・パスウェイ」事業を推進していく。

最も大切にしている人間力・国際力・競技力の向上を図ることにより、私達はただ強い選手を育成していくのではなく、多くのトライアスロンファミリーやファンから応援してもらえる魅力的な選手の育成を図っていく。



2) ステークホルダー

私達が考える、JTU オープンドア・パスウェイを展開していくにあたり、様々なステークホルダーとコミュニケーションを図りながら、円滑で持続可能なアスリート育成を目指す。

ステークホルダーとの関係を大切に、「アスリートセンタード」の意識を持ち、選手を中心にした関係者が取り巻く関係性を構築する。選手が成長するために、地域と NF が周囲を取り囲むようサポートすることで選手の環境を保持する。

ハイパフォーマンスチームは、行政・他競技・IF 並びに海外の NF から情報共有と必要なサポートが出来るよう関係各所と連携していくことで、変化の速度を促す触媒的な役割にも努めていく。

- ・選手 ・保護者
- ・コーチ(発掘・育成・強化)
- ・リジョナルコーチ(地域ごとの発掘・導入・育成)
- ・JTU 加盟団体・ブロック・地域(リージョン)
- ・JOC 加盟競技団体、日本水泳連盟・日本自転車競技連盟・日本陸上競技連盟
- ・スポーツ庁 ・JOC ・JSPO ・JSC



＜リージョナル TID プログラム＞

1)概要

JTU ハイパフォーマンスチームが策定した強化戦略プラン、そして JTU オープンドア・パスウェイのシステムを円滑に進めていくため、リージョナル TID プログラムを策定する。そして、本プログラムをスピーディーに推進していくにあたり、JTU ブロックを 8 つのリージョン(地域)に分け、それぞれのリージョンにリージョナルリーダーを配置して、KPI 達成に向けて各事業を実施する。

リージョナル TID プログラムを実行していくため、2021 年 2 月よりアスリートパスウェイ推進チームを発足し、地域と連携した発掘・育成を行う。

2021 年のアスリートパスウェイ計画事業は、①JSC アスリートパスウェイ支援事業 ②J-Star (タレント発掘プログラム)検証事業 ③toto(将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成) ④JTU 認定記録会事業 ⑤U15・U19・U23 強化事業を計画している。

JSC が推奨するアスリート育成パスウェイシステムである FTEM(Foundation Talent Elite Mastery)のトライアスロン版を稼働させ、発掘されたタレントに対して長期的な視点から育成・強化を行う。推進チームリーダーを山根理事(執行理事)、山倉常務理事、中山オリンピック対策チームリーダー、及び外部有識者を加えてプログラムをスタートさせる。

2)リージョン

- ①北海道・東北
- ②東関東
- ③西関東
- ④東京
- ⑤東海・北信越
- ⑥近畿
- ⑦中国・四国
- ⑧九州・沖縄

3)F(ファウンデーション) 7～15 歳

この段階では、トライアスロンの導入で、本格的なトレーニングや大会参加の前に、幅広い運動の動作を習得していく。さらに、スイム・ランに特化したマルチスポーツの練習や競技会に出場していき、発育・発達段階に応じた最適なトレーニングプログラムを構築していく。そして、トライアスロンの楽しさを感じ、自分に最適なスポーツであると感じてもらい、チャレンジングなプログラムで選手そして保護者のファンを増やす。

＜コーチングスタッフ＞

- ・JTU 加盟団体・強化委員会
- ・JTU 強化拠点コーチ
- ・JTU リジョナルコーチ

＜プログラム詳細＞

- ・トライアスロン競技の基盤となるスイムを、各地域のスイミングスクールと連携して構築していく。
- ・その中で、水中トレーニングだけでなくドライランドでランニングも含めたトレーニングを並行しておこない、様々な身のこなしを習得していく。
- ・週末は地域のマラソン大会に出場することで、ランを導入していくとともに、アクアスロン大会へ

の出場機会を創出していく。

・マウンテンバイクでスイミングスクールへ通い、未舗装の公園でサイクリングをするなど、将来において必要なバイクテクニックの基礎を身体に記憶させていく。

〈JTU リージョンにおける4つの KPI(Key Performance Indicator)〉

- 1)キッズトライアスロン体験会の開催
- 2)キッズトライアスロン教室の開催
- 3)キッズアクアスロン大会の開催
- 4)競泳における実績(ジュニアオリンピックカップ、全中)

4)T(タレント) 16～23 歳 + α

JTU 認定記録会そして、JSC や JOC のパスウェイプログラムなどを通じて、有望選手を発掘し、様々なプログラムを展開していく。ジュニアカテゴリーの日本選手権、アジア選手権、世界選手権、ユースオリンピック競技大会で表彰台に上る喜び、入賞する喜びをモチベーションにして、JTU リージョナルリーダーが中心となり、JTU 強化拠点で育成・強化プログラムを展開することで、JTU ナショナルチーム次世代選手に認定されるまで育成する。

〈コーチングスタッフ〉

- ・JTU リージョナルリーダー
- ・JTU ブロック・強化スタッフ
- ・JTU 強化拠点

〈プログラム詳細〉

- ・競泳選手を高校・大学では陸上部に入部するパスウェイを構築する。
- ・スイムタイムそしてランタイムから将来有望な選手をリストアップしていく。
- ・スイム⇒ラン⇒バイクで、本格的なバイクトレーニングを導入していく。
- ・海外在住の日本国籍を有する、もしくは取得可能な有望選手の TID や 24 歳以上の TID 調査など、エクセptionalなタレント発掘も進める。

〈JTU リージョンにおける4つの KPI(Key Performance Indicator)〉

- 1)認定記録会における JTU タレントリストのリストアップ
 - ・スイム 6 級 かつ スイム＋ラン 13 級以内
 - ・ラン 6 級 かつ スイム 13 級以内
 - ・スイム 13 級 かつ ラン 13 級
- 2)日本ジュニア選手権 8 位以内入賞選手の育成
- 3)JTU タレントの年間通じた育成活動と認定記録会におけるスイム・ランともに 6 級以内
- 4)ナショナルチーム次世代選手(ワールドランキング 300 位以内、男女各 6 名以内)の輩出

新タイム（16歳以上女子）			
級	Swim (400m)	Run (3,000m)	Swim + Run
1	04:13.00	08:53.94	13:06.94
2	04:16.80	09:01.95	13:19.75
3	04:20.59	09:09.96	13:30.55
4	04:24.38	09:17.97	13:42.35
5	04:28.18	09:25.98	13:54.16
6	04:31.97	09:33.99	14:05.96
7	04:35.77	09:41.99	14:17.76
8	04:39.56	09:50.00	14:29.56
9	04:43.36	09:58.01	14:41.37
10	04:47.15	10:06.02	14:53.17
11	04:50.95	10:14.03	15:04.98
12	04:54.74	10:22.04	15:16.78
13	04:58.54	10:30.05	15:28.59
14	05:02.33	10:38.06	15:40.39
15	05:06.13	10:46.07	15:52.20
16	05:09.92	10:54.08	16:04.00
17	05:13.72	11:02.09	16:15.80
18	05:17.51	11:10.09	16:27.60
19	05:21.31	11:18.10	16:39.41
20	05:25.10	11:26.11	16:51.21

新タイム（16歳以上男子）			
級	Swim (400m)	Run (3,000m)	Swim + Run
1	03:50.00	08:00.10	11:50.10
2	03:53.45	08:07.30	12:00.75
3	03:56.90	08:14.50	12:11.40
4	04:00.35	08:21.70	12:22.05
5	04:03.80	08:28.91	12:32.71
6	04:07.25	08:36.11	12:43.36
7	04:10.70	08:43.31	12:54.01
8	04:14.15	08:50.51	13:04.66
9	04:17.60	08:57.71	13:15.31
10	04:21.05	09:04.91	13:25.96
11	04:24.50	09:12.11	13:36.61
12	04:27.95	09:19.32	13:47.27
13	04:31.40	09:26.52	13:57.92
14	04:34.85	09:33.72	14:08.57
15	04:38.30	09:40.92	14:19.22
16	04:41.75	09:48.12	14:29.87
17	04:45.20	09:55.32	14:40.52
18	04:48.65	10:02.53	14:51.18
19	04:52.10	10:09.73	15:01.83
20	04:55.55	10:16.93	15:12.48